

天理・布留川源流域／大国見山山ハイキングの記録（498m）

今回は大和川の支流・布留川の源流域・大国見山のハイキングでした。

布留川は桜井市の初瀬川とその源流域を接しており、奈良盆地中央部で大和川（初瀬川）に合流、そのすぐ下流で佐保川が大和川に合流する大和盆地東部の青垣山系から流れ出す北部の佐保川、南部の初瀬川と並んで、大和川の主要な支流の一つです。7月の最終木曜日で暑さも厳しい中、近鉄天理駅に集合、参加者は11名でした。

- | | |
|-------|--|
| 1：日 時 | 27年7月30日（木曜日）10時 近鉄&J R天理駅 東広場（天理市観光案内所前）集合
天気；晴れ一時豪雨 |
| 2：持ち物 | 弁当、水筒、雨具、ストック、スパッツ、その他 |
| 3：参加者 | 奎三、浅野、長束、大石、杉谷、並木、石原、坂根、後藤、藤井、前窪、 11名 |
| 4：行 程 | 天理駅 ⇒ 天理商店街 ⇒ 石上神宮 ⇒ 布留川沿いにゆるやかに上る ⇒ 地藏尊／磨崖仏
⇒ 桃尾の滝 ⇒ 大親寺 ⇒ 大国見山 498m ⇒ 上滝本バス停（バス）⇒ 天理駅 |
| 5：経 路 | 下の地図参照 |



6: 詳細

① 布留川の調査

天理駅から歩き始める。天理教本部など天理教の関連の建物の多さに感心しながら広い商店街を抜けると布留川に掛かる橋と吉野川分水路と立体交差していると思われる水門に行き着きました。



以下は浅野さんの調査による布留川の概要です。

「布留川の源流部は天理市北東部の苅原町（ちしゃわらちょう）の谷地田にある。大和川シリーズ第1回で探索した初瀬川の源流域は丘一つ越えた東にある。細い谷水を集め、棚田の間を流れ、天理ダムの手前で右岸に長滝川を合流、天理ダム（青垣湖）に入る。天理ダムは昭和52年完成の重力式コンクリートダム、洪水調節、河川維持用水確保、天理市上水道水源開発の多目的ダム。ダムを出た布留川は桃尾の滝からの谷水をあわせて滝本町の集落を西流、石上神宮をかすめて天理の市街地に。布留大橋近辺で吉野川分水路と立体交差する。」

② 石上神宮 (いそのかみじんぐう)

布留川の調査を終え、そのまま歩き続け、石上神宮に到着。

石上神宮に入ると、まず放たれている鶏が目に入った。これらの鶏は石上神みやの神使とされているとのこと、また鏡池には特別記念物の「わたか」という魚が。当日は特に多く出ていると他の参拝客が言われておりました。ここで、参加者による記念写真の撮影。

また、石上神宮には国宝が3点（拝殿(本殿)、摂社出雲建雄神社拝殿、七支刀(ななつさやのたち))、他、重要文化財が多数あり、非常に歴史の古い由緒正しき神社でした。



布留

③ 桃尾の滝

続いて、桃尾の滝および大国見山を目指して歩き続けます。布留川を横目に上り道を歩くことになります。天理市の浄水場や地藏尊、磨崖仏などを確認しながらどんどん歩きます。歩くこと60分ほどで桃尾の滝に到着。ここで、昼食タイムです。

桃尾の滝は高さ23mで大和高原では1番高さのある滝で「やまとの水」に選ばれた名水とのこと。また、古今和歌集で後嵯峨天皇や僧正遍照が「布留の滝」と詠んだ滝とされているそうです。



④ 大親寺／大国見山

昼食後、大国見山まで上るグループと大親寺までに留めるグループとに分かれでの活動となりました。大国見山は498mの標高ですが、桃尾の滝からはそれまでのゆったりとしたハイキングコースとは一変し、本格的な山登りコースとなります。息を切らしながら一気に上りましたが、時間は一時間ほどでしたが……。山頂に着いた頃から雲行きが怪しく、休憩もそこそこ、慌てて下りはじめました。何とか、桃尾の滝に戻った時、一気に雨は激しくなり、雷の音も。屋根のある休憩所に飛び込み、そのまま30分ほどは動けず。小降りになったところでバス停を目指して再び歩き始め、上滝本バス停で先行隊と合流。バスに乗り天理駅に戻り、解散となりました。



7. 感想

源流(布留川)を調査し、歴史文化に触れ、山に上るといふ盛りだくさんの活動が出来ました。猛暑の中、頑張って歩き、また、雨もうまく避けることが出来、運もありで満足できる活動となりました。

(記録；大石)

天理・布留川 関連メモ

●布留川

奈良県天理市を流れ、大和川中流部に注ぐ川。

天理市東部の山中に発し、山麓の春日断層崖に布留川扇状地を開き、天理市街を西流、天理市吉田町で大和川中流部右岸に注ぐ。

多くの支流や分流を持ち、そのいずれもがほぼ天理市を流域とする。

布留川の源流部は天理市北東部の苜原町（ちしゃわらちょう）の谷地田にある。大和川シリーズ第1回で探索した初瀬川の源流域は丘一つ越えた東にある。細い谷水を集め、棚田の間を流れ、天理ダムの手前で右岸に長滝川を合流、天理ダム（青垣湖）に入る。天理ダムは昭和52年完成の重力式コンクリートダム、洪水調節、河川維持用水確保、天理市上水道水源開発の多目的ダム。

ダムを出た布留川は桃尾の滝からの谷水をあわせて滝本町の集落を西流、石上神宮をかすめて天理の市街地に。布留大橋近辺で吉野川分水路と立体交差する

天理市街地（平野部）に入ると、かつての扇状地の形状を残し、また用水のためもあったり何本にも分流。この分流にも枝の支流が合流、大和川に合流するまでに分流同士がまた合流するなど複雑な水系となっている。

○布留川の支流

長滝川、藤井川、西門川（←渋谷川、真面堂川放水路、真面堂川放水路、真面堂川（←鳥居川、岸田川、新泉川、長柄川））

○布留川の分流

布留川北々流、布留川南流（←勾田川、越川）、布留川北流（→富堂川、←嘉幡川）

